

症例3 ; 68才, 女性. 胃壁不整, diffuse small Bcell. CHOP 療法施行. 寛解を維持.

症例4 ; 26才男性, 盲腸腫瘤形成型悪性リンパ腫 diffuse large Bcell. 右半結腸切除後 CHOP 療法施行. 寛解を維持.

症例5 ; 36才, 男性. 胃幽門 Bor 4 型胃癌様所見. diffuse large Bcell, 胃全摘後 CHOP 療法施行. 寛解を維持.

まとめ ; 全例 B cell 型, 3例が大細胞型であった. 肉眼型は多様であったが, 大腸は, 2例とも腫瘤形成型であった. これらは, これまでの報告と合致する. 胃症例は, 3例ともヘリコバクターピロリ抗体が陽性であった.

治療は, 若年症例は, 手術を行いその後化学療法を追加した. 他は, 化学療法のみであった. 消化管原発リンパ腫は, 予後良好といわれているが, 当院の症例も予後は, 良好であった. 今後とも生存例4例の経過観察を厳重におこなっていく予定である.

5) 小児急性前骨髄性白血病の7例

小川 淳・片岡 哲	(県立がんセンター)
浅見 恵子	(新潟病院小児科)
内海 治郎	(新潟赤十字血液センター)
笹崎 義博	(笹崎こどもクリニック)

小児急性前骨髄性白血病7例の臨床経過を報告した. 化学療法のみで治療した3例のうち2例に完全寛解が得られ現在も無病生存中である. all-trans retinoic acid (ATRA) にて治療した4例のうち3例に ATRA で完全寛解が得られた. 残る1例は強化療法後に寛解した. この1例は寛解15ヶ月後に CNS 再発を来したが治療に反応して現在は CNS, BM とも寛解を続けている. 他の3例は初回寛解を続けている. 小児においても ATRA 療法は高い完全寛解率が得られるが, DIC の早期改善効果は明らかではなく, 逆に RA 症候群, WBC 増加, DIC の再燃等の合併症に注意が必要である.

6) 特異な慢性型のリンパ性白血病2症例

斎藤 弘行・森山 美昭 (燕労災病院内科)

慢性リンパ性白血病は成熟リンパ球様細胞が monoclonal に増殖した病態であるが, その範疇には多くの

亜型が含まれ, 時に正確な鑑別診断が困難なこともある. 慢性に経過し, 徐々に腫瘍性リンパ球が増加することにより貧血の進行など種々の臨床症状が増悪することになるのが一般的であるが, 時に特異な臨床経過を示すことがある. このような例として我々は, 原発性マクログロブリン血症 (MW) から移行したと考えられる B 細胞性前リンパ球性白血病 (B-PLL), 診断から数カ月の経過後に明らかな transformation やリンパ球増加を伴わずに胸膜浸潤および急性腎障害をきたした T 細胞性慢性リンパ性白血病 (T-CLL) の2症例を経験している. B-PLL 例は82歳の男性で, 12年前に MW と診断されていたが, その時点では白血球数は正常であった. その後, 徐々に白血球 (リンパ球) が増加してきたが, 興味深いことに病像の進行とともに IgM 値はむしろ減少傾向を示した. 長期間を経ての MW から B-PLL への病態変化の可能性が推測されたが, 両疾患は B 細胞分化とその腫瘍化においては連続したスペクトラムを有していたものと考えられる. その一つの根拠として PLL 細胞の表面免疫グロブリン (IgM κ) は MW の単クローン性 γ グロブリンと一致していた. T-CLL 例は69歳の女性で, 疾患それ自体が極めて稀なものと考えられる. 欧米においては, B-CLL と同様な小型のリンパ球形態を有する T 細胞性の CLL という疾患は存在しないとさえいわれてきたが, 本症例のように明らかにこのような疾患単位は存在する. 本症例の臨床経過で特異的なことは, 明らかなリンパ球形態やリンパ球数の変化を伴わずに突然臓器浸潤をきたした点であろう. また, いずれの症例も cyclophosphamide の一定期間の投与のみで症状は軽快し, その後は無治療にても良好な状態が維持されていることは興味深い.

7) 当院における治療関連白血病の臨床

永井 孝一・阿部 惇	(県立中央病院)
村川 英三	(内科)
関谷 政雄	(同 病理検査科)

【はじめに】 癌患者数の増加および, 治療の進歩による癌の治療率や生存率の向上に伴い, 癌治療に起因したと考えられる二次癌の増加が注目されている. 欧米の最近の報告では, 全白血病に占める治療関連白血病の割合は, 10~20%と報告されており, 本邦でも増加傾向にあるといえる. 今回, 私達は新潟県立中央病院にて治療した治療関連白血病の臨床的検討を行ったので報告する.

【対象および方法】 1988年1月より1998年9月まで